



NIITSU Station

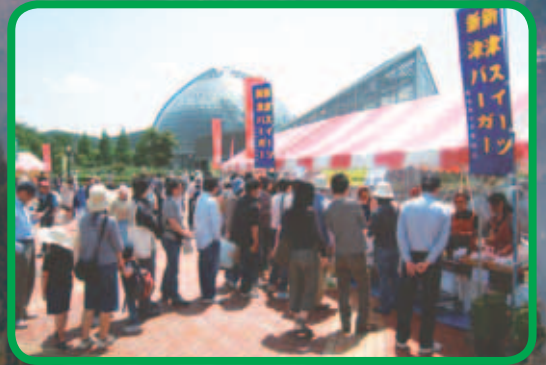
ホット

はいつホットステーション

2009. 1 vol.694

発行所 新津商工会議所
〒956-0864 新潟県新潟市秋葉区新津本町3丁目1番7号
TEL 0250(22)0121 FAX 0250(25)2332
Email:n-cci@fsinet.or.jp
URL http://www.niitsu.or.jp/
編集発行人 里村 進 毎月1回発行

「新津あおぞら市場」今年も開催予定
(昨年新津本町通りで開催した風景)



「にいつ食の陣」今年も開催予定
(昨年県立植物園で開催した当日座の風景)



運行10周年を迎える「SLばんえつ物語」号。今年の大観光交流年で活躍予定。(撮影場所：磐越西線 徳沢駅-上野尻駅間 写真提供：石川 敦 氏)

新年のごあいさつ

新津商工会議所会頭

馬場 欣一



新年明けましておめでとうございます。平成二十一年年頭に当たり、「今年こそは災害のない平和で安心な一年」となります様に心から祈りたいと思います。

会員の皆様には、日頃、当商工会議所が多様なご支援とご協力を頂き厚くお礼を申し上げます。今年も何卒よろしくお願いいたします。

顧みますと、昨年は、食の問題を始め、地震・大雨などの自然災害や凶悪事件の多発など、国民の安全・安心が改めて問われるとともに、社会面や政治面で混乱・混迷を生じた一年でありました。

社会問題では、官民の不正や不祥事の続発が話題になりました。老舗のモラルの欠如、儲け第一主義による商道徳の崩壊、サギの横行など、金欲に取り付かれた人々が蔓延しています。

政治問題では、与野党のネジレ国会の中で立ち往生した福田内閣が昨年九月に突然退陣したことは驚きでありました。安倍、福田と二代続けて途中で内閣を投げ出したことは、国民の政治不信に拍車をかけました。その後誕生した麻生内閣も経済の悪化に遭い苦戦しています。今後予想される衆議院議員の解散の行く末によつては混乱が一層拡大するのではないかと思われます。経済の不安に政治の不信が重なり、国民生活に支障を来さないか心配されます。

沈滞ムードの中でも明るい話題がありました。昨年八月の北京五輪での水泳、柔道、レスリングなどでの日本選手の大活躍と、十月のノーベル物理学賞での南部、小林、益川の三氏と化学賞の下村氏の受賞であります。我々日本人に明るい希望を抱かせる快挙であります。

さて、経済については、アメリカのサブプライムローンに端を発した金融危機の影響が、あつという間に世界中に広がり、世界経済に同時悪化をもたらしました。日本経済にも、株価暴落、円高、輸出減少、企業業績の悪化など、深刻な影響が広がっています。大企業も含めて中小・零細企業の業況は今後益々低迷、悪化し、景気は先行き大きく後退するのではないかと危惧されます。

新潟県の経済についても、金融危機の影響とは無縁ではなく、輸出関連をはじめとして県内各企業の業況が心配されます。県当局でも中小企業の各種支援に努めている様ですが、地域の活性化や格差是正など、より具体的な成果を求めたいと思います。

新潟地域の経済については、ご承知の通り依然として厳しさが続いております。総ての企業とも不振ですが、中でも建設業や商業・サービス業などは特に厳しい状況にあります。商店街でも、地域内外の大型店との競争が一層激化しているほか、個店の廃業が続くなど、衰退化に拍車をかけております。

こうした厳しい経済状況の中で、当会議所としても、会員のお役に立つために金融、経営、税務、労働などの相談事業と、経営革新塾等の各種セミナーや経営に役立つ講演会に力を入れております。また、当会議所の看板の一つであるIT化事業もスタッフを揃えて継続実施しております。また、地域や商店街の活性化を図るために、色々な事業を展開しております。昨年5月〜6月に、「食の陣」、「街なかガーデニング事業」を、10月には、「新津あおぞら市場」を実施しました。新津川の清掃や県立植物園の植栽などのボランティア活動も会議所会員などの協力を得て実施しました。

また、「産学官連携協議会(新潟薬科大学・J.A.行政・会議所との連携)」を立ち上げ、カキノモト、プチヴェールなど地元食材を使った新商品の開発を行っております。また、「新津の花事業の振興・拡大」を図るために、「地域ブランド創出事業(J.A.P.A.Nブランド育成支援事業)」にも取り組み、花事情の調査・研究から将来の輸出まで視野に入れた極東ロシアへの視察まで行なっております。

不況に喘ぐ新潟地域を少しでも元気づけるために、これからも「新津の食と花」をキーワードにして「地域おこし」や「商店街の活性化」に努めて参ります。また、今年、「新潟国体の年」であり、新潟地域でも「弓道競技」が開催されます。また、新潟県大観光交流年の年でもあり、県内外からも大勢の観光客に来て頂けるチャンスでもあります。この機会を捉え、当会議所と観光協会が連携して「新潟地域」を積極的に売込み、PRし、地域に賑わいを創出したいと思っております。

経済環境が一層厳しさを増す中で、地域総合経済団体としての商工会議所の果たす役割は益々大きくなってまいります。その期待に応えるべく、私共役員はこれからも会員の皆様方の先頭に立って引き続き頑張っております。

皆様方におかれましては、今年一年が益々充実した年になりますようにご期待申し上げますとともに、ご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。